

3月定例会 一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信をしていますのでご覧ください。

公明党 藤浪 清司 議員

消防団を中核とした地域防災力強化

(質問) 全国的に消防団員の減少、平均年齢の上昇が進む中、昨年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が公布された。消防団員の処遇改善、装備の拡充、団員確保などの取り組みについて尋ねる。

(答弁) 平成26年2月1日現在の消防団員数は、445人で10人の欠員、平均年齢は平成25年に42.9

歳となっている。本市として、消防団員の処遇改善、装備の改善、加入促進、教育訓練の改善などの推進策をもって消防団の充実強化を図りたい。

加入促進については、条例の改正をもって、入団資格要件を緩和し、入団し易い環境を整備して、幅広い層からの加入促進に取り組みたい。

教育訓練については、消防団員に防災コーディネーター、防災士といった有識者の入団を促進し、地域防災リーダーの育成に努めたい。

その他の質問 ○通学路の交通安全の確保について

すずか倶楽部 中西 大輔 議員

海岸線部の災害への備えについて

(質問) 市東の海岸部から西への動線について、災害リスクへの対応という観点から鈴鹿市行政内で整理されているのか、液状化についての考えはどうか。

(答弁) 海岸部から西に避難する際の最短ルートを、地域住民に認識してもらうことは重要と考えている。避難路選定に関して積極的に支援する。関係部局

と連携し、津波避難路のリスクマネジメントを行いたい。

液状化などで自宅に住めなくなった場合、一時的に収容避難所で生活、その後、仮設住宅や借上げ住宅に入居になる。仮設住宅などの建設費用に関しては、三重県が積み立てておくことになっている。

今年度末に県から新しい被害想定が発表されるため、それをもとに液状化対策に取り組みたい。

その他の質問 ○新給食センターについて
○オープングバメントの推進について

すずか倶楽部 鈴木 純 議員

鈴鹿亀山道路について

(質問) 県は新名神亀山JCTと鈴鹿市の中心部をつなぐ自動車専用道路建設について、市民参加で検討してきた。今夏には知事がルートを決めるようだが、鈴鹿市にとってもメリットの大きいルートを提案すべき。有識者委員会は北部2ルートにしぼったが、市もかつては中勢バイパスへつなぐ南ルートが地域振興に役立ち有効的としていた。中勢バイ

パス周辺は既存産業や新産業ゾーンも多く、ルート選定は慎重に検討すべきだが市の考えは。

(答弁) 本市としては、中勢バイパスや北勢バイパスの完成による時間短縮、新たな開発誘導の観点と、将来的な交通網の有効性から、北部のルート案が最適と考える。

今後、有識者会議や市民の意見を聞き検討していく。

その他の質問 ○総合計画等での市民満足度調査について

緑風会 宮本 正一 議員

XP2014年問題について

(質問) 4月にOSのシステムサポートが終了するパソコン(XP)の取り扱いと今後のICT戦略の進め方について問う。

(答弁) 本市が使用する庁内LAN用パソコン約1,500台は昨年末までにWindows7へ更新が完了。庁内LAN以外では本市が所管する244の所属及び施設で、学校等教育施設含め2,251台のパソコンを使

用し、約5割の1,067台がXP仕様である。818台がサポート終了後も使用予定であるが国の指針に従い対策を講じる。

また、「個人情報取扱特記事項」に受託業者が使用するパソコン等へのウイルス対策の項目を追加し周知徹底を図った。セキュリティ対策の充実、総合的な計画の必要性を考え全庁的な組織体制として来年度から副市長をトップとするICT推進本部の設置と情報統括補佐官の配置に向け準備を行う。

その他の質問 ○コミュニティバスについて